

国際研究集会の御案内

東京大学史料編纂所では、ロシアに所在する日本関係史料の系統的な調査・研究と収集に取り組み、現地の研究機関と協力して国際研究集会や共同研究を行っています。今回もロシアの旧都サンクトペテルブルク市から3人の研究者を招聘しました。1860年代初頭の沿海州開発とウラジオストク建設、対馬事件を指揮したリハチョフ提督についてなど、ロシア海軍をテーマにした2報告や、1889年、皇帝アレクサンドル3世に謁見した有栖川宮のロシア訪問に関する報告が予定されています。いずれも現地ロシア史料に基づいた報告です。多くの方のご参加を呼びかけます。

日露関係史料をめぐる国際研究集会

日時:2013年5月7日(火)、14:00~17:00

会場:東京大学史料編纂所(大会議室)

▼報告1: セルゲイ・チェルニャフスキー館長

(ロシア国立海軍文書館)

「ロシアによる沿海州の獲得と

ウラジオストク港の建設(ロシア海軍文書館文書より)」

▼報告2: ワジム・クリモフ上級研究員

(ロシア科学アカデミー東洋古籍文献研究所)

「リハチョフ、イヴァン・フョードロヴィチ(1826-1907)

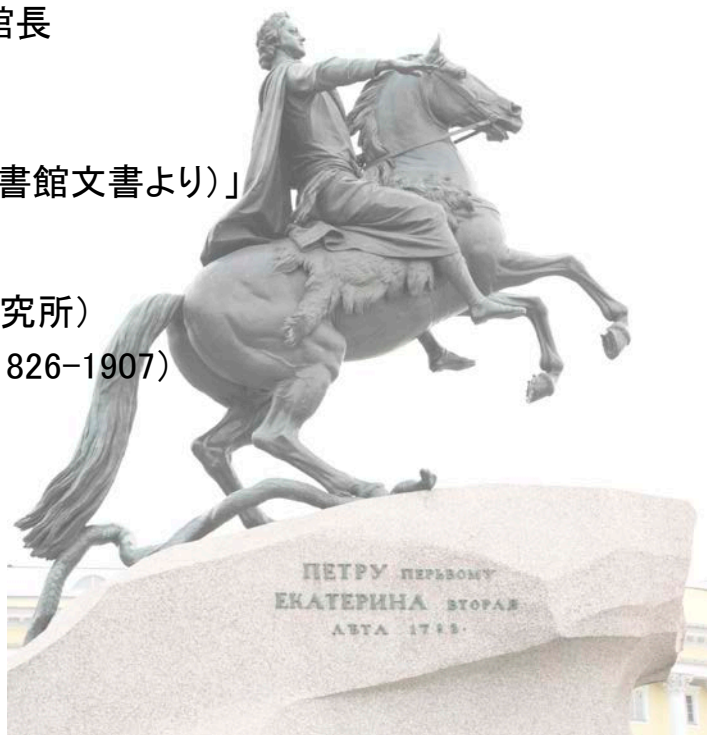
:艦隊司令長官・学者・人間」

▼報告3: アレクサンドル・ソコロフ館長

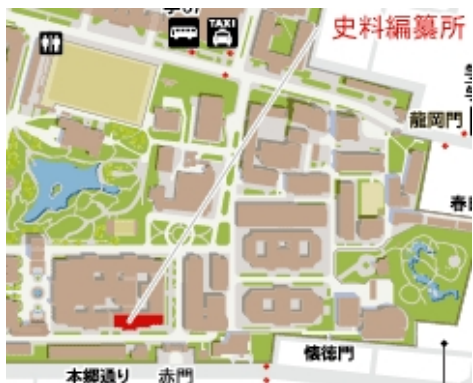
(ロシア国立歴史文書館)

「有栖川宮のペテルブルグ訪問と

『宮廷外交』」



※ 終了後、レセプションを予定。



主催/日本学士院・ 東京大学史料編纂所

連絡先: 科研事務局 03-5841-8411

科学研究費補助金基盤研究(A)「ロシア・中国を中心とする在外日本関係史料の調査・分析と研究資源化の研究」(研究代表者: 保谷徹)

※本集会は日本学士院による日本関係未刊行史料調査事業(国際学士院連合関連事業)の一環として行われます。

史料編纂所大会議室(会場は研究所の向かい側の建物、地下1階です。)